



日本共産党 京都市議員
ひぐち英明
議会報告

みなさんのご意見・ご要望をお寄せください！

こんにちは ひぐち英明です

第414号 2022年4月16日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel761-6341
HP: : 左京生活相談所 Tel781-6622

かじかわ憲知事候補へのご協力、ありがとうございました

要求と運動は今後の大きな糧



左京(上)と
全体の報告
集会

4月10日に行われた京都府知事選挙では、共産党も支援したかじかわ憲候補が、25万1千票を獲得したものの、当選には至りませんでした。かじかわ候補へご協力

いただいたみなさん、本当にありがとうございました。

寄せられた願い実現に向け力を尽くします

選挙前から、そして選挙中も、たくさんの要望がみなさんから寄せられ、また、そうした要望を実現するために、住民自ら様々な運動が展開されました。例えば、コロナ対策があまりにも不十分なことに対して、暮らしや生業への支援を強めるとともに、減らされた保健所をもとの数まで増やすことをかじかわさんは公約。

北陸新幹線のような環境破壊の大型事業に税金を使うよりも、コロナ対策にこそ使うべき、との声が広がりました。

こうした要望と運動は、選挙が終わったらなくなるわけではありません。報告集会でも、かじかわさんは、引き続き運動の先頭に立つ決意を述べられました。みなさんご一緒に、政治転換に向けて力を合わせましょう！



たけやま彩子京都選挙区予定候補を先頭に

参院選勝利へ奮闘します



知事選挙で浮き彫りになったのが、京都府も京都市も、国の方針、つまり、大型事業などで一部の大型企業を応援する一方で、そのつけを「自己責任」という言葉で住民に押し付ける、いわゆる新

自由主義の路線をそのまま京都に持ち込もうとする姿です。

この国の方針そのものを転換する絶好のチャンスが、6月後半に始まる(7月10日投票か?)参議院選挙です。比例代表で共産党を大きく伸ばしていただくとともに、京都選挙区は、たけやま彩子予定候補を、なんとしても押し上げてください！

自民党の「政治とカネ」をめぐる疑惑噴出

豊田議員に対する問責決議を可決

2月議会で、左京区選出の豊田恵美議員(現在は自民党を離党)に対する問責決議が可決されました。

同居の家族を「事務所職員」として「雇い」、「給料を支払う」という行為は、同じ家計内でのお金の移動ということです。これだけだったら特に問題はありませんが、その給料を人件費として計上し政務活動費を受給していた、つまり、みなさんの税金を家計に入れていたということであり、しかも、議会の調査では、その家族の「勤務実態を確認できない」というのですから、ことは重大です。「不正受給」と指摘され、「議員を辞職するべき」との声が出るは当然です。

この間、京都の自民党が、国政選挙のたびに候補者が、地元の地方議員に50万円ずつ現金をばらまいていた(自民党京都府連を経由して)ことが、国会でも大問題となっています。自民党の「政治とカネ」をめぐる疑惑は尽きることがありません。

○ ひぐち英明 ホット・コム ミニ版 ○

長女が看護師の国家試験に無事に合格し、4月から長野県の病院に就職しました。奨学金を受けていた民医連の病院です。コロナ禍での就職ですから、特に大変だと思います。体にだけは気を付けてほしいと思いますが、若い時にしか体験できないこともありますから、欲張っていろいろなことにチャレンジしてもらいたいと思います。

長男(大学3年)と次女(高校3年)も、それぞれ学年が一つ上になり、次女はいよいよ大学受験生の年。いったいどんな進路選ぶのか。まだまだ悩みは尽きないようです。